

精密切断装置

SBT850 ワイヤー・ソー



※写真は、本体にスラリー用ポンプ、リザーバーを装備したものです。

近年、新素材、超電導材料、電子素子等の研究開発において各種分析、試験、顕微鏡観察のために試料の精密な切り出しや薄切の要望が高まってきております。SBT850ワイヤー・ソーは、これらの要望に応えるために開発された精密切断装置です。

用途

新素材、セラミックス、金属、半導体、超電導材料、ガラスおよび各種複合材料の光学顕微鏡観察用、電子顕微鏡観察用、分析用 (EPMA, ESCA, FT-IR, SIMS 他)、材料試験用の切り出し、薄切、ならびに試料作製。



メイワフォーシス株式会社

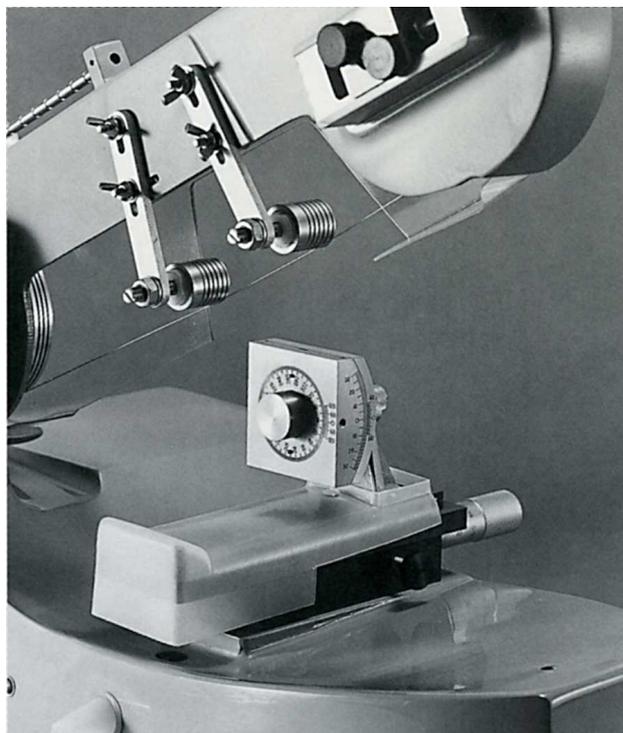
特長

高精度

- ループ状の極細ステンレス・ワイヤーに研磨剤(水とグリセリンに混合)をそそぎながら切断します。
- ワイヤーは一方方向に運動しているため、往復運動タイプのワイヤー・ソーに比較して振動はほとんどなく、半導体のように非常に脆い試料でも破損を防ぎます。
- 試料への加重は、ワイヤー保持アームをバランス状態(加重なし)から微小おもりを加減して細かく調節でき、試料にひずみを与えず切断できます。
- 試料の送りは、マイクロメーター付スライドアッセンブリーにより精密に行なうことができ、100 μ m以下の平行な切片を連続して作製できます。

多用途

- ダイヤモンド・コーティング・ワイヤーを使用すれば、セラミックスのような硬い試料も迅速に切断できます。また、スラリーの混入を嫌う試料にも最適です。(乾式切断可)
- 水溶性の試料には、ワイヤーに水を含ませながら切断するスリング・ソーとしても使用できます。
- 結晶質の試料には、ゴニオメーター(オプション)を使用することにより、切断面の角度設定ができ、任意の結晶面の切断ができます。(右写真)



仕様

ワイヤースピード: 75~750cm/秒
 試料寸法: 直径37mmまで
 ワイヤー径: 125 μ m、250 μ m、375 μ m
 寸法: 700(W)×200(D)×250(H)mm
 電源: 100V、50/60Hz
 重量: 9kg(本体)

オプション

●スライド・アッセンブリー

85021/マイクロメーター・アッセンブリー(移動幅25mm、標準付属品)
 85022/マイクロメーター・アッセンブリー(移動幅50mm)



85015/85021



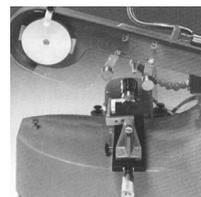
85016/85022

●ワークテーブル・アッセンブリー

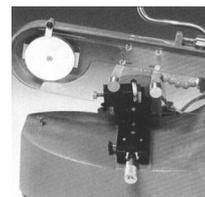
85011/ゴニオメーター・マウント
 85013/ワークテーブル・アッセンブリー(85011用)
 85014/バイス・ホルダー
 85015/ワークテーブル・アッセンブリー
 (マウンティング・ブロック25mm角、50mm角用、標準付属品)
 85016/インデックステーブル・アッセンブリー(角度目盛り付き)



SBT250ゴニオメーター
85011/85022



85013/85021



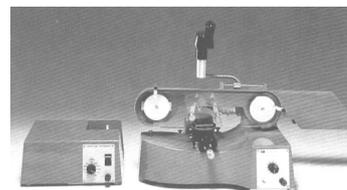
85014/85021

●その他のアクセサリ

85024/角度可変ゴニオメーター・マウント(85022及びSBT260用)
 85030/スラリー・ポンプ・システム
 85040/顕微鏡システム
 85099/SBT850スターター・キット



SBT260ゴニオメーター
85024



85030、85040

■本カタログに記載された内容は、改良などにもない予告なしに変更する場合があります。